

ふなはしせいいちきねんぶんこ
舟橋聖一記念文庫について

みなさんに、してもらいたいこと

ひこねしりつとしょかん
彦根市立図書館



としょかん ふなはしせいいちきねんぶんこ
図書館には、「舟橋聖一記念文庫」があります

ふなはしせいいちきねんぶんこ
☆「舟橋聖一記念文庫」には、なにがあるの？

しょうわ ねん ねん ふなはしせいいち ほん
昭和51年(1976年)に、舟橋聖一さんがもっていた本やざっ
し、自分が書いた作品など 38,700点くらいを舟橋聖一さんの
か
家ぞくからもらいました。それらをだいじにしています。

ふなはしせいいちきねんぶんこ としょかん
☆「舟橋聖一記念文庫」は、図書館にいつできたの？

しょうわ ねん ねん がつ にち ひこねじょうない かいこく
はじめに、昭和51年(1976年)7月20日に、彦根城内の開国
きねんかんない ほん み
記念館内で、本をみんなが見られるようにしました。

しょうわ ねん ねん がつ にち ひこねしりつとしょかん
そのあと、昭和54年(1979年)11月23日、彦根市立図書館
へ、その本をうつしました。

ふなはしせいいち ひと
☆舟橋聖一さんはどんな人なの？

- ・ 120年いじょう前の、明治37年(1904年)
12月25日に東京で生まれました。
- ・ 作家(本を書く人)です。昭和28年(1953年)
に『花の生涯』という本を書きました。



しょうわ ねん ねん がつ にち ひこねし めいよしみん
・昭和39年(1964年)6月30日、彦根市の1ばんめの「名誉市民」
になりました。

しょうわ ねん ねん がつ にち さい
・昭和51年(1976年)1月13日に、71才でなくなりました。

☆彦根とどんなつながりがあるの？

ふなはしせいいち か はな しょうがい
舟橋聖一さんが書いた、『花の生涯』
という本には、彦根の“殿さま”の井伊
なおすけ ひこね か
直弼や彦根のことなどが書かれています。



はな しょうがい えいが
『花の生涯』は映画やえんげき、
テレビドラマにもなりました。

しょうわ ねん ねん はな しょうがい
昭和38年(1963年)にNHKのたいがドラマで「花の生涯」
がほうそうされたことで、多くのおおのうが井伊なおすけ ひこね
知ってくれたり、彦根にたくさんのひと き
人が来てくれたりするよう
になりました。

☆彦根市の「名誉市民」ってなんだろう？



ひこね
彦根のためになることをしてください
ひと たい
った人に対して、おられるものです。
はな しょうがい いい なおすけ ひこね
『花の生涯』は井伊直弼や彦根のこと
おお ひと し
を多くの人に知ってもらおうきっかけに
なったので、それをか 書いたふなはしせいいち
さんにおられました。

☆「舟橋聖一記念文庫」はだれでも見られる？

だれでも見られます。

としょかん
図書館があいているときに、しよくいん こえ
職員に声
をかけてください。あんないします。

でも、おとな ひと
大人の人といっしょに見に来て
くださいね。

